

寫

急造爆雷，製法並用法，就

石和軍九部所

海軍

急造爆雷ノ製法並ニ用法ニ就テ(爆薬戰斗ノ参考拔萃)

第一 要旨

一急造爆雷ノ敵戦車ニ肉迫ニ殺傷力高ク攻車ニ依リ戦車
 底板下ニ投メシ(適量ニ之ヲ潰滅スル用フ)
 二爆雷ノ肉攻車ト身同作ナリ故ニ其區或ハ其火具ノ製法ノ特ニ
 綿密精確ナラザラズ

第二 急造爆雷ノ種類及効力

第一表ノ如シ

種類	使用区分	効果	摘要
五 所	戦車	底板部ヲ爆	敵戦車ニ肉甲ハ
七 所	中戦車 (M4, M3)	破シ内中機能	逐次大トナル着意
一〇 所	戦車	ヲ破壊ス	スルヲ要ス
一五 所	戦車	ヲ殺傷ス	

第三 製法

一 基本圖ノ製法

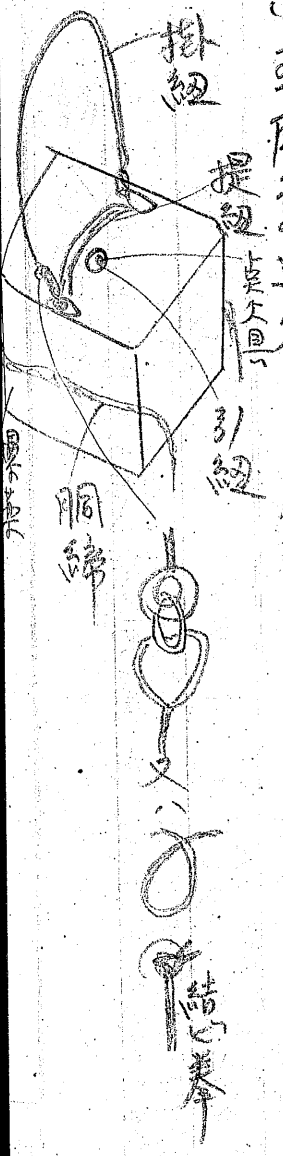
補強部外径約 2cm
細麻糸ヲ以テ三ヶ所縛ル



副木之結束は硝子ナリトキ、黒色葉ノ燻蒸ニ依リ、雷管ト其ノ管
トノ間が抜ケシ不審トナ
又副木ニハヨリ乾燥セル竹ヲ使用スルモト又生竹ハ不可ナリ

五、補助装置ノ取付

多量燻蒸雷管ノ補助装置ニ依リテ便ニシ肉攻動作ヲ容易ナラシム
ル爲掛紐胴締提紐及負紐ヲ附ス其ノ要領尤ノ如シ
ハ五所多量燻蒸雷管ノ補助装置



一、掛紐ハ胴又ハ繩ヲ作り肩ニ掛ケテ取付ス

二、胴締ハ綱繩ヲ作り燻蒸雷管ノ初端ヲ所カケテ胴ニ締ム

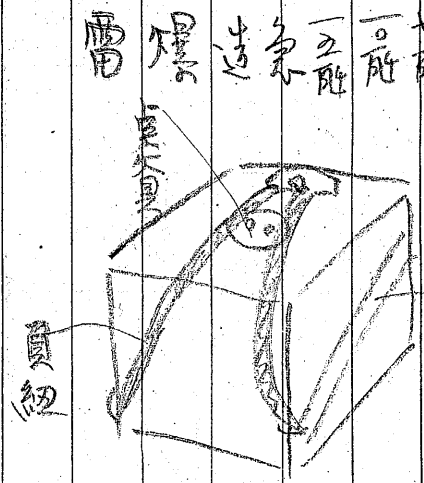
三、提紐ハ綱繩ヲ作り燻蒸雷管ヲ投擲スル爲ノ拵ヲ紐トス

四、掛紐及胴締ノ長サハ肉攻手ノ体格ニ應ジテ定ムモノトス

五、七所十所十五所多量燻蒸雷管ノ補助装置

取手ハ綱繩ヲ作り、背ニ負ヒテ取付ス

取手ハ筐ノ両側ニ取付テ投擲ノ際之ヲ拵ヲ投擲ス

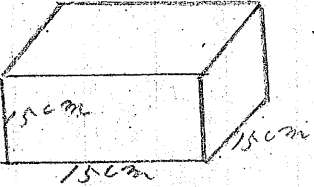
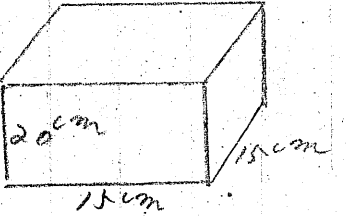
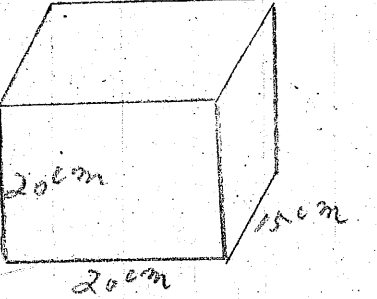
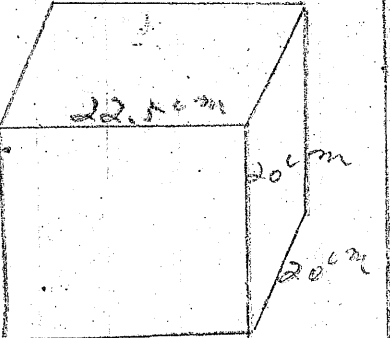


取手ハ筐ノ両側ニ取付テ投擲ノ際之ヲ拵ヲ投擲ス

六、装置ノ梱包
ハ各種燻蒸雷管ニ應ジテ装置葉(黄色葉)ノ形状ヲ互表スル如シ

(納野宮・飯大)

和五表

學教	法及狀形積集爆	呼種
54箱		五 能
74箱		七 能
96箱		十 能
144箱		十五 能

(1) カリット (カ) ナイト (ナ) 八其ノ集積及其自ノ積箱ニ依リ集積ノ形状ヲ定ムルモノトス

(2) 爆集及貞人具ノ裝入
急造貞人具用ナル之所急造爆雷ノ梱包要領左如シ

